

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ナチュラルこどもハウス鶴見区店					公表日 2025年 月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童発達と放課後デイの利用時間が重ならないよう工夫されている。祝日等に合同で活動する際には、狭く感じることもあるが、スペースを分けることで別の活動を行うこともできている。 ・ 限られた範囲のなかで、身体を動かすことのできる活動を取り入れている。 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用児童に合わせて、人数の調整と活動内容を決めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法定基準値はクリアしているが、日によっては送迎の時間帯には配置数が足りない場面もある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人の荷物を入れるBOXに顔写真と名前を貼るなど、こども目線でも視覚的にわかりやすい。 ・ 階段があり、バリアフリーとは言い難いが、怪我がないように取り組んでいる。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備等古くなっている箇所もあるが、毎日の掃除はしている。活動スペースの日々の消毒等はしていないが、大掃除等で行っている。 ・ 毎日の清掃や備品の配置などを定期的に見直し、快適に過ごせるよう環境整備を行っている。 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の様子に合わせて、パーティションで個室を作って使用している。 ・ 必要に応じて、別室で行えるよう環境を整えている。 ・ パーティションを使用して、半個室を作っている。 	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ ねらいや振り返りを必ず行っている。 ・ ミーティングや引継ぎノートを通して常に業務改善を進めている。 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容の周知はしている。 ・ 職員間での共有・話し合いを行い、改善できるよう努めている。 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務量が多く、ミーティングや意見交換の時間を設けられない。 ・ 個々のコミュニケーションの中で意見を伝えることはある。 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導があった場合はすぐに改善している。 ・ 第三者による外部評価を行っているかどうか知らない。 	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部研修や社内研修を行っている。 ・ 個々に気になった研修を進んで受けている。 	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ HPIにて公表している。 ・ 連絡帳を通して保護者にはプログラムの内容やねらいを伝えることができている。 	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ アセスメントはもとより、日々の保護者様との引継ぎ時に情報共有をすることができている。 ・ お子様と保護者様のニーズや課題は職員間で共有し話し合いを行っている。 	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を参考に事業所で作成したアセスメント様式を活用している。 	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガイドラインに沿った計画書を作成し、具体的な支援内容の設定がなされている。 	

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	・それぞれの担当職員が行っている。 ・事前にレク案を作成し、全職員が確認できるようにしている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・カレンダーに記録するなどを通して、活動プログラムが固定化しないよう工夫している。 ・似たような活動が続かないよう、工夫を行っている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	・様々な方法を組み合わせながら考慮し作成している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・朝礼で活動内容の周知を行っている。 ・毎朝のミーティングで、支援内容や職員配置の共有や確認を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	・活動後に記録し、支援の振り返りや改善につなげている。 ・活動終了後には記録を残している。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	・半年に一度モニタリングを行っている。初利用の児童には、3ヶ月でのモニタリングを行っている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1	・主に児童発達支援管理責任者や担当職員、管理者などが出席している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・保育所によっては、支援の内容を共有できている。 ・今後、必要に応じて関係期間からの問い合わせなど情報共有し関係機関との連携に努めていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			・今後検討していきたいと考えている。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	4	・現在はスーパーバイズを受ける機会はないが、今後は必要に応じて検討していく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	・保護者様のご意向を踏まえて交流の機会には参加したいと感じる。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・連絡帳や送迎時に療育の内容やその日の様子を伝え、必要に応じて保護者様からの相談をお聞きしたり、事業所での様子や課題についてお話しする場を設けている。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4	・今後スキルアップを図り、ご家族への支援の拡充を行っていきたくと考えている。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	・見学時と契約時に、口頭と書面で丁寧に説明を行うよう心掛けている。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	1	・事前にアセスメントシートを配布し、意向を確認する機会を設けている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	・必ず保護者様に説明し、同意を得ている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・常時、保護者様からの相談を受け付けて丁寧に対応するように努めている。 ・家庭での様子の聞き取り時に、相談等があればおこなっている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4	・保護者様のご意向を踏まえて行いたいと考えている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・相談窓口を設置し、保護者様にも契約時にお伝えしている。 ・苦情や意見があった場合は職員間で共有、改善している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・SNSや、活動写真の掲示を行っている。 ・デibroボ、インスタグラムの活用や行事案内等の配布を都度行っている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・鍵のあるロッカーで厳重に管理している。 ・十分留意していると感じる。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・連絡帳や送迎時、またはお電話を通して、保護者からの情報を得ている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	・今後検討し地域とのつながりを作っていきたいと思う。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	・定期的に職員間で周知し、事例などを基に、実施している。 ・月に1度、避難訓練を行っている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	・服薬が必要な際は、事前にお薬札を提出していただいている。 ・服薬や体調に変化があれば周知している。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	・アレルギーがある場合は、保護者様から詳細を確認している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	・研修にて全職員が周知するよう取り組んでいる。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	・契約時に説明を行っている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・必ず全職員が確認するよう共有している。 ・再発防止に向けて話し合いを実施している。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1	・定期的実施している。 ・社内研修にて全職員が参加し、共通認識に努めている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1	・対象する児童がない。	